

令和2年度 学校評価表

学校教育目標		この島に生まれ育った誇りと自信を持って、学び続ける生徒の育成											
ミッション		地域の強みを生かした小中高連携による瀬戸田教育の発展			ビジョン		中学生がリーダーシップをとって島の活性化を図る。具体的には、地域等と連携し、持続可能なまちづくりの提言を行う。福山市立大学の指導を仰ぎ、取組の充実を図ることで2年後にユネスコスクールへ加盟し、志を同じくする世界の学校と連帯する。					尾道市立瀬戸田中学校	
評価計画					自己評価					学校関係者評価		改善計画	
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	7月	1月	達成度	評価	結果と課題の説明	二次評価		コメント	改善案
					達成値	達成値				イ	ロ		
知	主体的に学ぶ生徒	1 教師の授業力の向上	・各種学力調査等の分析と授業改善 ・「課題発見・解決学習」の授業実践	①生徒アンケート項目「先生の授業は分かりやすい」の評価80%以上 ②+1の新単元開発 ③一人1回授業研究実施	①102.6 (82.1) ②③16.7 (16.7)			B	①生徒の主体的な学びを促す課題発見学習の中で、ICTを活用した授業を行うための研修等を行っている。2学年では90%を超えたが、他学年では目標値に達していない。学習意欲の向上させることが2学期に向けての課題である。②③12名のうち2名が研究授業を行い、教育委員会より指導を受けている。全員が研究授業を行い、成果と課題を共有することで教職員全員の授業力向上に繋げたい。④長期休業明けの出席率は90%程度だった。やり切りさせることで基礎学力の向上を図りたい。⑤読書活動の推進に向けて図書委員会の活用を図りたい。			ICTの活用と研修をより積極的にすすめる。学習意欲の向上と学力アップにつなげてほしいと思います。	2学期は研究授業も増加する。その中で学びを全教職員に広げ、授業力の向上に努めたい。朝の時間を利用した基礎学力の定着を継続し、家庭学習としてのゼミナーも本格的に開始するなど、学力向上に向けて生徒にも意識づけ、動機づけを行うことで学習意欲の向上につなげていきたい。
		2 生徒の家庭学習と読書の習慣化	・全学年でセミナー学習（復習プリント）を実施 ・読書通帳の活用	④セミナー学習の達成率80%以上 ⑤読書量：月2冊以上の生徒80%以上	④113.4 (90.7) ⑤97.6 (78.1)								
徳	自己肯定感が高い生徒	1 ボランティア活動の充実	・生徒会の活性化とリーダーシップ	①ボランティア活動への参加率100%	①0				①今年度は新型コロナウイルス感染症のため、ボランティア活動を行っていない。2学期以降も未定である。 ②1年63%、2年82%、3年71%であった。今年は運動会や部活動の大会が中止になるなど、生徒が活躍する機会が少なかったことも関係があると思われるが、生徒の頑張りをほめて、認めて、励ますことを様々な場面で続けていきたい。			コロナのため、諸行事の中止はやむを得ないが、一日も早く終息し、社会生活・学校教育活動が正常に戻ることを願うばかりです。	コロナのために行えなかった行事もあるが、制限のある中でも生徒会を中心とした、生徒が活躍できる場を意図的に設定していきたい。普段の授業や部活動、学校からの通信など、あらゆる場面で教師が生徒の頑張りを評価し、生徒同士でもよさを認められるような関係を築けるよう指導したい。
		2 学校行事等の充実	・行事の事前・事後の活動の充実	②生徒アンケート項目「自分にはよいところがある」の評価80%以上	②90.0 (72.0)			B					
体	心身共にたくましい生徒	1 基本的生活習慣の確立	・「早寝・早起き・朝ご飯」（寝る時刻・起きる時刻・夕食の時刻の3点固定）の徹底	①生徒・保護者アンケート項目で習慣化できている生徒の割合80%以上	①105.4 (84.3)				①目標値を超えているがインターネットゲームなどで生活リズムが崩れている生徒もいる。家庭での協力も必要なので、ほげんだより等も活用して呼びかけを続ける。 ②おおむね積極的に部活動に参加することができている。制限のある環境での練習のため、顧問が指導に当たる日が多かったが、これからは1、2年生中心に変わる時期にあたり、自主性の育成も図っていきたい。			コロナ禍の中で様々な行事が制限される中で、部活動ができなかったり、生活リズムが乱れるなど今までにない難しい面が多くあり生徒にとっても先生にとっても大変だと思いますが、生徒・保護者に今後もアンケートをとるなどして、精神面のケアも今まで以上にやってほしい。	昼休憩に休息を取る場所・時間を設けるなど、生活習慣を整える意識を向上させ、健康で過ごすために自ら工夫できるように指導していきたい。部活動については、運動部は新人戦を控えて、文化部は文化祭に向けて取組で意欲的に活動しているが、その時期に応じた目標を設定させるなど、生徒が自主的に活動できるようにする。
		2 体力向上等に励む生徒	・部活動の参加率	②生徒アンケート項目「部活動にほぼ毎日参加している」の評価80%以上	②103.4 (82.7)			A					
信頼される学校	自校を誇りに思える生徒と心身ともに健康で生き生きと職務に邁進する職員	1 ふるさと学習の充実	・「総合的な学習の時間」リニューアル ・積極的な情報発信	①生徒アンケート項目「総合的な学習の時間では、ふるさとのことを学ぶ有意義な時間である」の評価80%以上 ②生徒・保護者のアンケート項目「学校はホームページ等で積極的に情報公開している」の評価80%以上	①112.1 (89.7) ②121.3 (97.0)			A	①「この島に生まれ育った誇りと自信」をもたせるためにも2学期はさらに地域学習に力を入れる。 ②新型コロナ感染症に関する休業中にも、連日情報発信するなど、積極的に情報を発信している。 ③適切な仕事の分担など、特定の教職員に負担がかからないように工夫する。			必要な情報を公開する方法としてホームページ等の活用を引き続き行ってほしいと思います。コロナ禍の中で生徒だけでなく先生にとっても困難な状況があると思いますので、働き方改革を進めてほしい。	総合学習を通して、地域について考え、体験活動をすることで、課題解決能力を育成するとともに、地域のよさに気づかせ、発信していく姿勢を育てたい。引き続きホームページや学校メールを利用して情報の公開に努めたい。
		2 働き方改革の推進	・時間外労働の縮減	③全職員、時間外労働80時間/月以下	③86.0								

【自己評価 評価】

A: 100≦(目標達成)
C: 60≦(もう少し) < 80

B: 80≦(ほぼ達成) < 100
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。